

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

3

男子・女子 2回戦

会場 スカイホール豊田C コート

<p>聖和学園</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>	<p>31</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>13 — 16</p> <p>18 — 11</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>7mTC</p> </div>	<p>27</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<p>那覇西</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>
--	---	--	---	---

多彩なセットプレーを武器とする聖和学園と、堅い守りからの速攻を武器とする那覇西の戦いは、開始46秒の那覇西の先制で始まった。流れが変わり始めたのは前半10分、那覇西6番高山を皮切りに一挙4連続得点し、引き離していく。何とか点差を縮めたい聖和学園はポストプレーと10番大松のロングシュートで3連続得点し、流れを呼び込む。両チームとも粘り、那覇西が3点リードで前半を終わった。

後半は聖和学園の速攻が決まり先制する。那覇西の速攻は後半も止まらない。対する聖和学園は、8番吉野のポストシュートらGK1番鹿野のキーピングが光り、後半20分ずついに逆転する。ようやく流れをつかんだ聖和学園は流れに乗り、後半28分那覇西は2名の退場者を出してしまい、再び流れを呼び込むことはできなかった。